

「天のつぶ」を作付する 農家の皆さまへ！



平成28年4月 天のつぶ生産販売推進本部会議

今年の米づくりが始まります！
美味しい「天のつぶ」を生産するために、
次のポイントを必ず守りましょう。

1. 基肥の窒素成分が多いと、食味が低下します。
主食用米として栽培する場合は、基肥の窒素成分は6～8kg/10aとし、多肥栽培は行わないでください。

穂肥は、幼穂形成期に窒素成分で2kg/10a施用しましょう。

基肥一発肥料を用いる場合は、ひとめぼれ並の施肥量とします。



2. 斑点米カメムシの被害を防止するため、出穂7日後と14日後に薬剤防除を行いましょ。また、ほ場の周りの雑草はカメムシ類の「住み処」となるので、出穂14日前までに草刈りを終わらせるようにしましょう。
3. 「天のつぶ」は飼料用米としても作付されていますが、飼料用米向けに多肥栽培した米は食味が低下するので、飼料用米向けに栽培した「天のつぶ」は主食用米に混ざらないよう、区分管理を徹底してください。

みんなから「天のつぶって美味しいね！」と言って
もらえるように、きちんと作っていきましょう！

